

平成27年度 狭山市 市民提案型協働事業

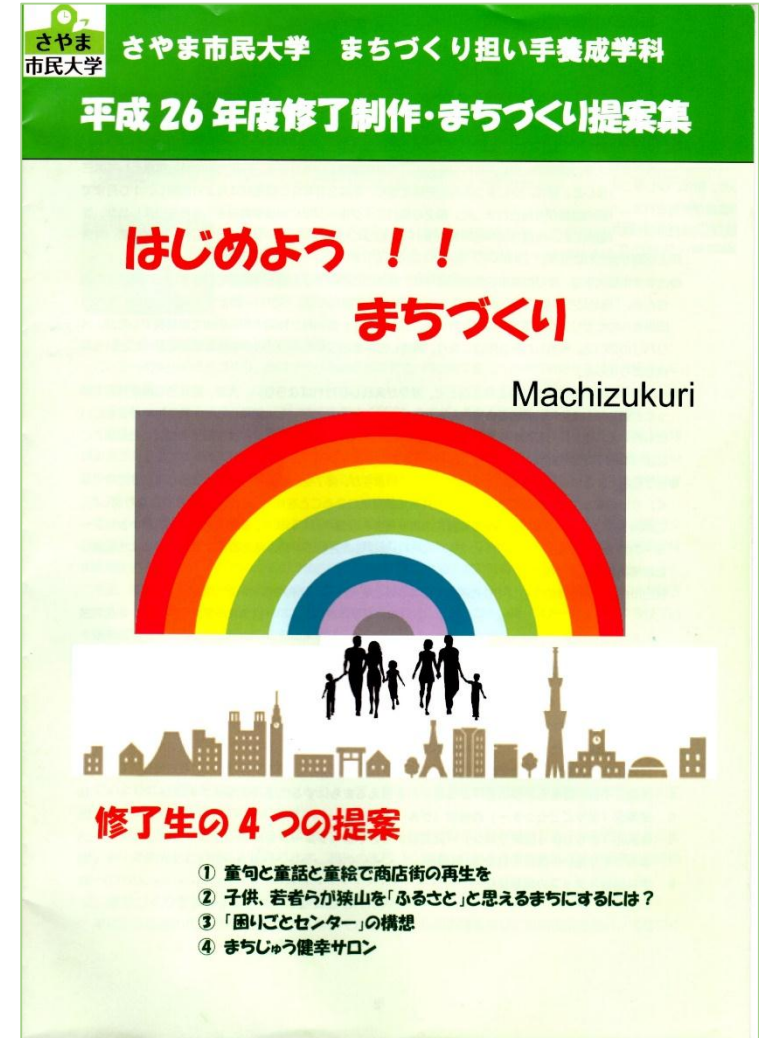
# 狭山ふるさと醸成事業

狭山ふるさと会

代表 島田公江

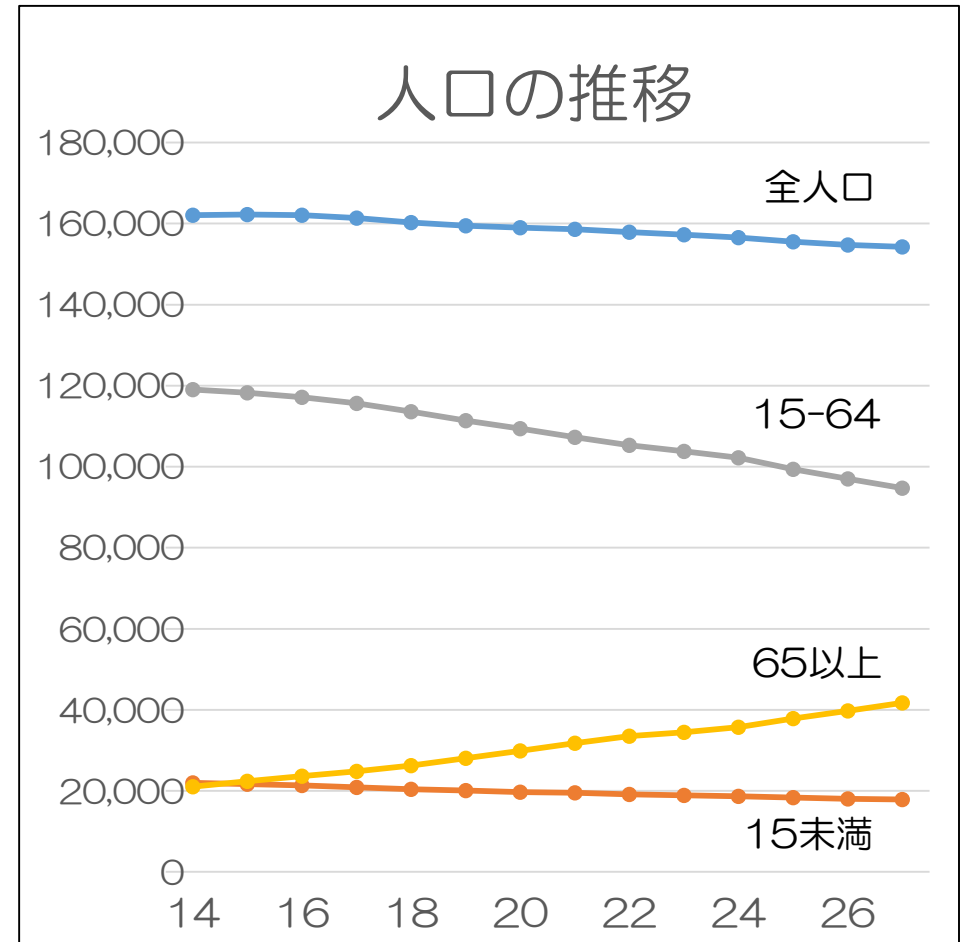
# 目次

1. 事業の実施理由
2. 中長期的展望
3. 本年度の内容
4. まとめ
  - 1) 事業の先進性、特異性
  - 2) 協働提案の理由
  - 3) 事業の成果
  - 4) 自主財源



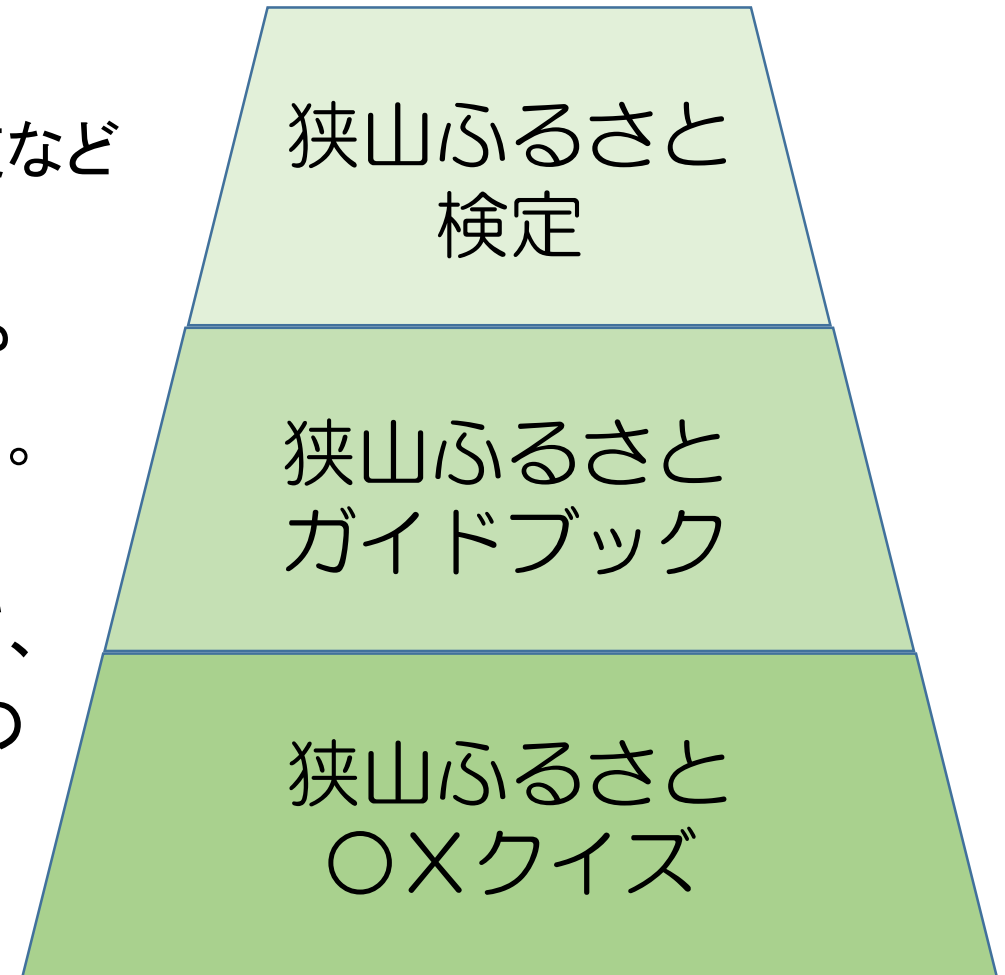
# 1. 事業の実施理由

- ・さやま市民大学まちづくり担い手養成学科の修了生が学習のなかで、
- ・人口減少の現実を食止める対策として、子ども達や若者にふるさと意識を醸成することが必要ではないかと考え、
  - ① 狭山で学び
  - ② 狭山で体験し
  - ③ 狭山で仲間をつくる
- ・そんな機会を提供する団体として「狭山ふるさと会」を立ち上げました。



## 2. 中長期的展望

- 最終目標は『狭山ふるさと検定』です。  
成績優秀者には、狭山ふるさと博士や大使など  
栄誉を授与し、特別会員として活動します。
- 前段として、「狭山ふるさとガイドブック」や  
「狭山ふるさと〇×クイズ」を提案しています。
- できることから実施して、市民に認知されて、  
子供達や若者のチャレンジ精神や郷土愛の  
醸成に貢献したいと考えています。



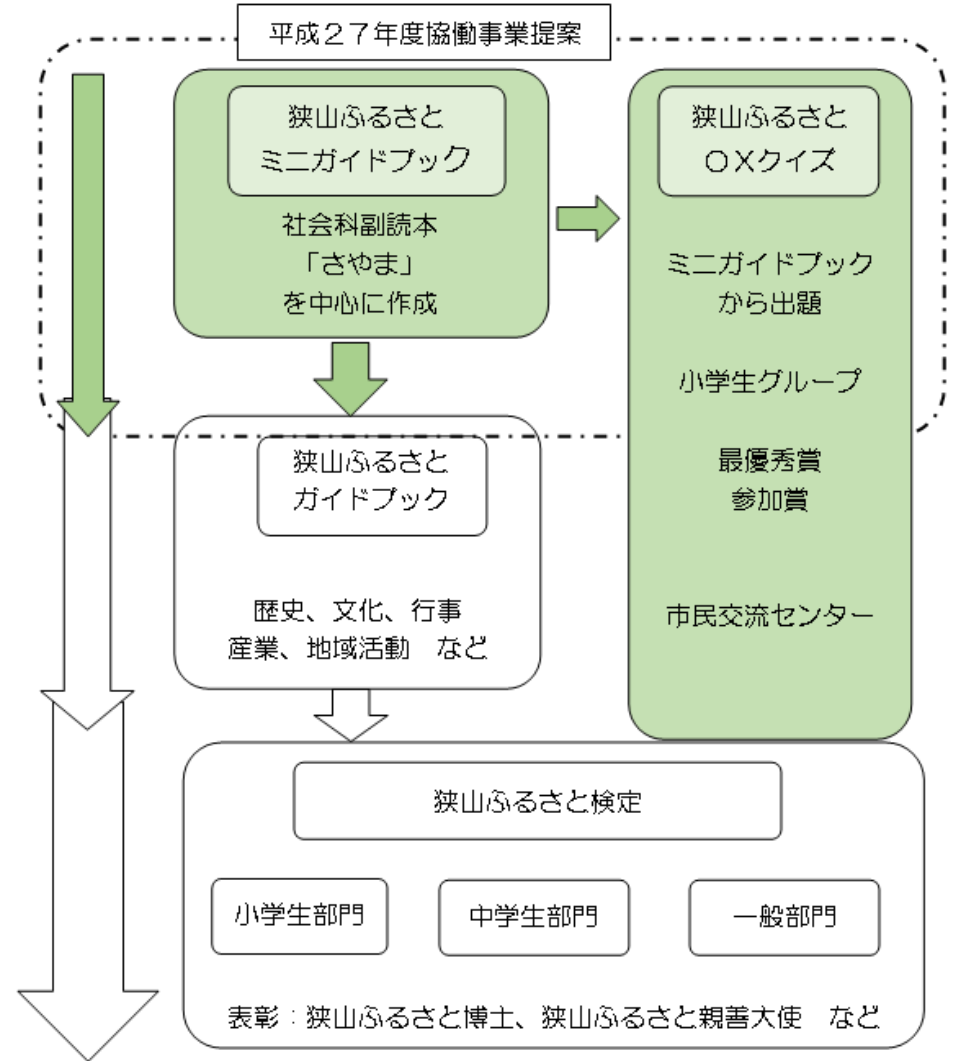
# 3. 本年度事業の内容(1)

○ 協働事業は、以下の3項目です。

- 1) 狭山ふるさとミニガイドブック作成
- 2) 狭山ふるさとOxクイズの実施
- 3) 狭山ふるさとガイドブックの企画書作成

○ 受託事業

さやま市民大学「狭山地域ふるさと学講座」の運営を受託しています。



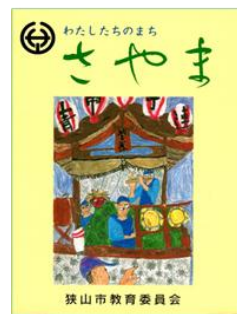
# 3. 本年度事業の内容(2)

## 1) 狭山ふるさとミニガイドブック作成

社会科副読本「さやま」などを主な題材に20項目について解説をつけミニガイドブックとして編集製本します。元編集者が主に担当します。

## 2) 狭山ふるさとOXクイズの実施

七夕まつりのイベントとして、交流センターと共催で実施します。  
小学生グループの募集はポスターや広報、web上で呼びかけます。



20項目、解説付き



ミニガイドブック (案)



# 3. 本年度事業の内容(3)

## 3) 狭山ふるさとガイドブックの企画書作成

狭山ふるさと検定に向けた冊子として、  
本年度は項目の拾い出しや冊子形式や  
体裁に関する企画書を作成します。

参考：小江戸川越検定(検定委員会)  
ジュニアかなざわ検定(教育委員会)  
さやま検定(まつり実行委員会) など

(全国の商工会議所主催は93件)

## 4. まとめ ①

### 1) 事業の先進性、特異性

- ・ 市民大学「狭山地域ふるさと学講座」の運営を受託しており、講座の成果を活用します。
- ・ クイズに参加する小学生達は、グループで学習成果を競い合い、仲間をつくります。  
さらに単に、イベント参加にとどまらず、成績優秀者は次年度の運営を担うこととなります。

### 2) 協働提案の理由

- ・ 資金面での助成と狭山ふるさと検定に向けての知名度と信頼性のアップが狙いです。



## 4. まとめ ②

### 3) 事業の成果

- ・ミニガイドブックは、副読本と同様に、子供達が狭山を知り体験するガイド本となります。 イベント終了後に、販売をします。  
3年間の成果をまとめて、小学生向けガイドブックとなります。
- ・〇Xクイズの参加者グループは、チャレンジ精神と仲間づくりを期待します。
- ・「狭山ふるさと」の認知度が高まることで、狭山ふるさと検定が現実的になります。

### 4) 自主財源

- ・認知度が高まり、狭山ふるさと検定を受験することのメリットが理解されれば、ガイドブックの販売や検定前研修、受験収入を得ることができ、自立は可能と考えています。

狭山ふるさと会の決意

さやま市民大学で学んだ  
成果を念頭に  
狭山にふるさとを求めて  
活動していきます

